



藤田 まこと

No. 26 議会だより

二〇一七年三月

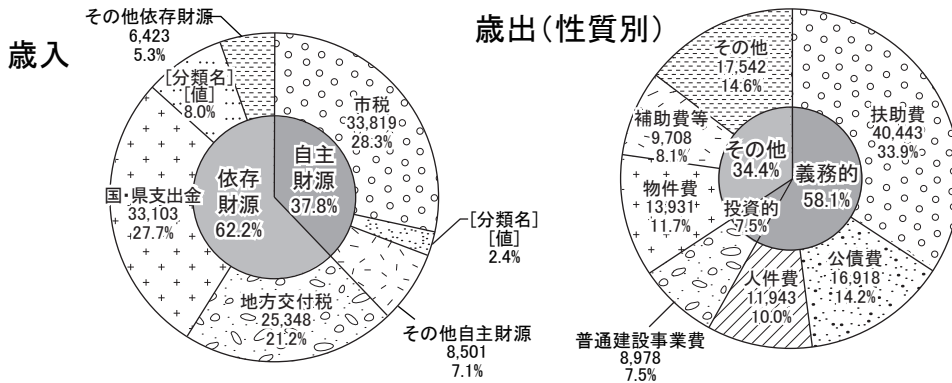
発行者 藤田 まこと
 事務所 青森市中央1丁目22-5
 青森市議会
 社民党控室
 TEL:017-734-5692
 FAX:017-722-8902
 印刷所 スタジオとまと
 TEL/FAX:017-761-2770

平成29年度 青森市当初予算 (特集)

一般会計予算規模は1,197億5,108万9千円
(昨年度比:約13億3,150万円増)



【歳入歳出の構成比】 (単位:百万円)



＝調査特別委員会を設置＝

アウガの問題に関して、中村ミツオ議員から、会社内での会計処理及び契約事務に不正が見受けられるとの質問があり、議会として明確にする必要があることから調査特別委員会を設置した。

「未来への投資」にも意を配るため「あおもり、再生」特別枠を創設 (寄付5億円と政策枠1億円を原資) 実施期間 H29～32年度 (5千万円×4年＝2億円)

1. 地域企業新ビジネス挑戦支援事業 【新規】

本市の真の「緊急課題」は、人口減少であり、地域にしごとを作り、若者がこの街で暮らしていける環境を創造するため、従前対象事業費2百万円に留まっていた支援制度を最大1千万円まで大胆に拡充し、地域に根を張る企業の新ビジネスへの挑戦を、産学官の総力で支援していく。

街の活力を生み出す「挑戦を誇れる街」の実現に向け、既存の助成金を見直し、新たなビジネスに挑戦する地域に根ざした中小企業者を応援する。

対象者：青森市に本社を有し法人格のある中小企業者、または市内で法人として創業する者

対象事業：地域金融機関から融資を受けて事業化に取り組む新ビジネス事業

対象経費：研究・開発費、機械装置等購入費、創業に要する経費など

(※人件費や原材料費等のランニング経費は対象外)

対象事業費：1,000万円以内

助成率：原則1/3以内(詳細は担当課へ)

◇産学官による審査会を経て対象事業を決定・表彰します。

2. 地域活動環境改善事業 【新規】

本市の長所のひとつは、町会・町内会を核とした地域の強いつながりである。しかしながら、地域活動の拠点となる公民館、福祉館、農村センター、児童館などの老朽化が進み、活動の支障となっていることから、その改修支援を行うことで、憂いなく地域活動に取り組める環境を創っていく。

本市の誇りであり長所である、地縁に支えられた地域の強い絆と個性豊かで意欲的な地域活動の拠点となる、地

域市民館等の利用環境の改善を進める。

対象施設：①地域市民館(町会所有)、②公民館分館(町会所有)、③公民館分館(市所有)、④福祉館等、⑤農村センター等、⑥児童館

限度額：1施設あたり25万円/年

※H32年度までの間で、次年度以降に繰り越して合算可
 対象経費：施設の修繕(屋根・外壁等の修理、畳張替え、トイレ改修等)備品の購入(机・椅子・ストーブ等)

3. バスマち空間向上事業 【新規】

本市の弱点のひとつに、バス事業の経営難があります。一般会計からの平成29年度繰入額は約8億1千万円に及び、バス停やバス待合所に対する投資はほとんど行われてきませんでした。

郊外の老朽化したバス待合所の改修や、高齢者・外国人観光客にも優しい、文字が大きく、多言語にも対応したバス停の整備とともに、広告スペースを併設することで、市民の皆様の利用環境と収支の改善の両立を図っていく。

①バスマち利用者を風や雨雲等から守り、安全で快適なバス待合所の整備を進めます。

- ・新築 年10箇所程度
- ・改築・修繕 年20箇所程度
- ・防風パネルの設置 年5箇所程度

②高齢の方や観光客にも配慮した、大きく見やすい文字サイズや多言語表記のバス停の設置を進めます。

- ・年150箇所程度(うち多言語表記のバス停標識、年20箇所程度)

③バス待合所やバス停標識に広告スペースを設け、交通事業の経営改善に努めます。

主な取組(6の政策)の内 主な事業(抜粋)

①「ひと創る」

東京赤坂のAOMOLinkについて、レストラン事業を廃止して、物販に集約し、52週イベントを開催して参ります。また、農業の高所得化を目指し、市奨励作物のうち最も収益率の高いトマトなどに重点投資するほか、来年度の新中央埠頭工事完了を睨み、ポートセールスによるクルーズ船誘致に取り組む。

<地域ベンチャー支援>

- ・青森と首都圏をつなぐビジネス交流拠点構築事業【拡充】 90,483千円
- ・地域ベンチャー支援事業【新規】 685千円
- ・地場産業振興資金融資事業【拡充】 348,961千円

- ・中小企業者創業資金支援事業【拡充】 14,785千円
- ・あおり産品販売促進事業【拡充】 18,296千円
- ・生産者6次産業化支援事業(補助金) 1,046千円
- <攻めの農林水産業>
 - ・あおり農業所得向上対策事業【拡充】 2,462千円
 - ・産地パワーアップ事業(国事業)【新規】 8,824千円
 - ・新規就農総合支援事業(補助金) 63,029千円
- <広域観光の推進>
 - ・青森市観光振興対策事業 18,185千円
 - ・青森ねぶた派遣事業 13,284千円
 - ・青森港クルーズ船誘致促進事業【拡充】 10,485千円
 - ・八甲田地区観光商品造成支援事業【拡充】 2,557千円

②「ひと創り」

保育所等の増改築費用助成の対象施設数拡大や、放課後児童会の開設場所増設を図り、また、いじめ防止対策を当初予算から本格計上し、教育相談体制を強化します。地域スポーツ促進のため、人工芝グラウンド整備やカーリング場の利用期間延長に取り組む。

- ・放課後児童対策事業【拡充】 382,245千円
- ・観光客受入環境整備事業【拡充】 63,544千円

<教育環境の整備>

- ・青森市いじめ防止対策総合推進事業【拡充】 1,395千円
- ・文化芸術によるまちづくり担い手育成事業 2,374千円
- ・オリンピック・パラリンピック事前合宿等誘致推進事業【新規】 2,816千円
- ・地域のプロスポーツクラブ等交流連携事業【新規】 500千円
- ・人工芝グラウンド整備事業 373,404千円

③「まち創り」

アウガへの総合窓口移転や、青森駅周辺整備事業に、着実に取り組みます。また、地域活動環境改善事業と、地域に足を運ぶ「あおりタウンミーティング」の開催、浪岡の地域力活性化・チャレンジ活動の支援等を通じ、地域の個性を生かしたまち創りを進める。

<新市庁舎建設を大胆に圧縮、アウガに移転>

- ・アウガ改修工事関連経費 178,235千円
- ・アウガ情報システム関連経費 133,832千円

- ・新市庁舎設計変更関連経費 49,896千円
- ・青森駅周辺整備推進事業 673,331千円
- <地域の個性を活かしたまちづくり>
 - ・あおりタウンミーティング事業【新規】 148千円
 - ・町会活動支援事業 64,983千円
 - ・地域コミュニティ活性化支援事業 18,698千円
 - ・地域市民館整備事業 5,570千円
 - ・訪問型通所型等サービス事業【新規】 17,943千円
 - ・地域ぐるみの健康づくり支援事業【拡充】 4,460千円

④「やさしい街」

青森市地域福祉計画に基づく重点事業を推進し、地域包括ケアの取組を加速します。また、市民の健康寿命延伸にターゲットを絞って取り組むため、「元気都市あおり健康アップ推進会議」を「(仮称)健康寿命延伸会議」に発展改組する。

<地域包括ケアの推進>

- ・地域福祉計画推進事業【拡充】 11,410千円
- ・一般介護予防事業【新規】 30,890千円
- ・障がい者一般就労支援事業【新規】 1,220千円
- <公共インフラの保全>
 - ・道路ストック総点検事業 142,860千円
 - ・橋梁長寿命化対策の着実な推進 766,834千円
 - ・民間建築物耐震診断・普及啓発事業 154,100千円

⑤「つよい街」

自主防災組織による避難訓練への助成額を引き上げるとともに、原別消防分署の整備を進め、また、道路舗装と橋梁修繕を計画的に行うほか、民間建築物の耐震工事への助成を創設します。除排雪経費、流雪溝などの整備費、除雪機貸出数の増台などを計上。

<市民防災の促進>

- ・自主防災活動促進事業【拡充】 5,960千円
- ・避難行動要支援者対策事業 4,554千円
- <克雪体制の整備>
 - ・除排雪対策事業 2,843,078千円
 - ・流雪溝整備事業 203,508千円
 - ・冬期歩行者空間確保貸与除雪機整備事業 6,727千円
 - ・通学路対象除雪機貸与事業 2,819千円

⑥「かがやく街」

ごみの減量化・資源化の促進を図るため、その他のプラスチックの収集回数を、週1回へ拡大、また、陸奥湾の資源保全の観点から、東津軽郡をはじめ、むつ湾沿岸市町村や団体と連携し、むつ湾リレーフォーラムを開催するほか、青森港本港地区緑地(浜町緑地)の雪処理施設を供用開始。

<身近な里山の保護>

- ・収集推進事業【拡充】 388,255千円
- ・公共下水道汚水処理施設整備事業 1,444,993千円

<むつ湾環境の保全>

- ・むつ湾環境保全活動促進事業【拡充】 1,864千円
- ・漁場環境保全事業 10,000千円

ご意見・ご要望をお待ちしています

社民党控室 藤田まこと TEL:017-734-5692 FAX:017-722-8902